



平成23年10月27日

各 位

株式会社マーベラス AQL  
代表取締役社長 許田 周一  
(コード: 7844 東証第二部)  
上席執行役員 経営戦略室管掌 染野 正道  
電話番号 03-5769-7447 (代)

### 業績予想の修正並びに特別利益及び特別損失の発生に関するお知らせ

株式会社マーベラスエンターテイメント(以下「マーベラス」といいます。)は、平成23年10月1日付で、株式会社AQインタラクティブ(以下「AQI」といいます。)及び株式会社ライブウェア(以下「ライブウェア」といいます。)と合併し(以下「本合併」といいます。)、株式会社マーベラスAQLとなりました。

最近の業績の動向等を踏まえ、平成23年5月10日に公表した平成24年3月期 第2四半期累計期間(平成23年4月1日～平成23年9月30日)の業績予想を修正するとともに、本合併の影響を織り込んだ平成24年3月期通期(平成23年4月1日～平成24年3月31日)の業績予想を算出いたしましたのでお知らせいたします。また、本合併により、特別利益(負ののれん発生益)及び特別損失が発生する見込みですので、併せてお知らせいたします。

なお、業績予想の修正に伴い、配当予想につきましても修正を行っております。詳細につきましては、本日発表いたしました「平成24年3月期配当予想の修正及び合併記念配当に関するお知らせ」をご覧ください。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正

##### (1) 平成24年3月期 第2四半期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,500	△160	△180	△185	△1,516.39
今回発表予想(B)	2,812	30	13	7	57.97
増減額(B-A)	312	190	193	192	
増減率(%)	12.5	—	—	—	
(ご参考)前期実績	4,347	△264	△300	△279	△2,396.20

##### (2) 平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,000	230	190	180	1,475.41
今回発表予想(B)	12,000	1,030	1,000	3,140	5,874.09
増減額(B-A)	5,000	800	810	2,960	
増減率(%)	71.4	347.8	426.3	1,644.4	
(ご参考)前期実績	6,965	202	147	131	1,075.82

※前回発表予想数値は、マーベラス単独の予想数値であり、本合併による影響は織り込んでおりません。

## 2. 修正の理由

平成24年3月期 第2四半期累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）につきましては、音楽映像事業において、「プリキュア」シリーズの映像商品受注や、平成23年6月に発売した「劇場版 遊☆戯☆王 ～超融合！時空を越えた絆～」の映像商品受注が好調に推移したことに加え、デジタルコンテンツ事業において、平成23年8月に発売した「グランナイツヒストリー（PSP）」、平成23年9月に発売した「閃乱カグラ 少女たちの真影ー（ニンテンドー3DS）」等の新作ゲームソフトの受注が好調に推移したこと等により、売上高、利益ともに計画を上回る見込みです。

平成24年3月期通期（平成23年4月1日～平成24年3月31日）につきましては、存続会社であるマーベラスの現時点における通期連結業績予想数値と、消滅会社であるAQ I及びライブウェアの現時点における第3、第4四半期（平成23年10月1日～平成24年3月31日）の連結業績予想数値を合算し算出しております。また、当期純利益につきましては、「3. 特別利益（負ののれん発生益）及び特別損失の発生について」に記載する内容を織り込んでおります。

## 3. 特別利益（負ののれん発生益）及び特別損失の発生について

### （1）特別利益（負ののれん発生益）の発生について

本合併に関する会計処理につきましては、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 改正平成20年12月26日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 最終改正平成20年12月26日）に基づき、マーベラスを取得会社とするパーチェス法を適用しております。これに伴い、消滅会社であるAQ I及びライブウェアの株主に割当てた合併対価株式の時価による金額と、両社の簿価を基に算定した株主資本の合併対価株式に相当する部分の金額の差異2,232百万円を、平成24年3月期 第3四半期において特別利益（負ののれん発生益）として計上する予定です。

### （2）特別損失の発生について

本合併によるオフィス統合等に係る費用76百万円を、平成24年3月期 第3四半期において特別損失として計上する予定です。

## ※ 業績の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上